

争議発生ノ場合

府下大崎町谷山三。番地左記工場

二 事業主側

名 称 多喜電球製作所

事業主 多喜虎吉

資本金 約四千万

事業 各種電球製作業

企業系統 ナシ

使用労働者 男十七名 計三十二名

三 労働者側

争議参加人員 男六名

應 援 裏面ヨリ全協日本化学労働組合東京支部ニ於テ応援

争議参加労働者中組合加入者五名ノ見込

四 争議発生ノ時

昭和六年二月十九日

五 争議発生ノ原因

標記工場ニ於テハ事業不振ノ為メ成績不良ト認めラルル。赤川誠一及北川莊司ノ二名ニ對シ本月十六日解雇方申渡シ之カ手當トシテ日給十四日分ヲ給與セルカ右ノ内赤川ハ不當解雇ナリトシ日本化学ノ支援ヲ求メ復職方交渉セルニ因リ要求事項及交渉状況

就労職工中水村・市原・中澤・渡辺・趙・小林等ハ解雇者赤川ト連絡協議シ去ル十九日工場主ト會見シ口頭ヲ以テ誠一前者ノ復職方要求セルカ工場主ニ於テハ即時拒絶セルニヨリ前記主謀者ハ争議ノ擴大ヲ計レヘク就労者ニ對シ別記ニシテ配布シ煽動中ナリ

六 察取端

叙上被解雇者赤川誠一、就労職工水村虎藏ハ全協オレゲト